

経済学部A方式 I 日程・社会学部A方式 I 日程・現代福祉学部A方式

## 3 限 選 択 科 目 (60 分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～17	日 本 史	18～29
世 界 史	30～41	地 理	42～49
数 学	50～51		

## (注意事項)

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 地理は経済学部，社会学部を志望する受験生が選択できる。  
現代福祉学部を志望する受験生は選択できない。
4. 試験開始後の科目の変更は認めない。
5. 数学は以下の注意事項に従うこと。
  - ・解答用紙の所定の欄に受験学部を○で囲むこと。
  - ・解答を導く途中経過も書くこと。
  - ・解答はおもて面に記入すること(裏面は採点の対象にならない)。
  - ・その他，解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
  - ・定規，コンパス，電卓の使用は認めない。
6. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

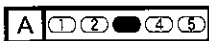
## マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆，ボールペン，シャープペンシルなどを使用しないこと)。

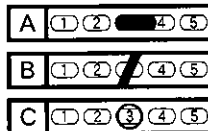
## 記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



} 枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

# (日 本 史)

〔 I 〕 次のA、Bの文章を読み、下記の問いに答えよ。

A 日本にもたらされた仏教は、北方仏教の系統に属するもので、6世紀には公式に伝えられた。仏教の受容をめぐるのは、受容派の蘇我氏と拒否派の物部氏の間で深刻な抗争がくりかえされたが、587年の排仏派の物部守屋滅亡を契機に、本格的な仏法受容の道がひらけた。この時期の仏教の中心地は飛鳥と斑鳩であり、その仏教中心の文化は飛鳥文化といわれる。

奈良時代にはいと、仏教の呪術的力によって国家を守護しようとする鎮護国家の思想が発展し、聖武天皇による国分寺建立や、大仏造営などの事業が推進された。奈良の大寺院では、インド・中国で成立した仏教理論の研究が行われ、僧侶の学派として南都六宗が成立した。政府は仏教を保護した反面、きびしい統制もおこない、民間での布教も規制した。

平安京に遷都した桓武天皇は、奈良時代後半の仏教と政治の結びつきを反省して、平城京からの大寺院の移転を禁止し、最澄らの新しい仏教を支持した。最澄と空海は入唐し、帰国後、それぞれ新たに天台宗と真言宗を開き、日本独自の仏教の形成に踏み出した。平安中期以後になると、現世利益をもとめる信仰と並んで、来世の往生を願う浄土教も盛んとなり、聖の活動などによって民間にも浸透した。

B 中世の仏教界の中心勢力は、南都・比叡山・東寺など旧仏教の諸寺だった。しかし、僧兵の合戦や強訴などにみられた戒律軽視への反省のなかから、旧仏教内部に戒律の重視を主張する改革運動がおこった。鎌倉時代の初めごろ、法相宗の (1) (解脱)や華嚴宗の (2) (高弁)は、戒律の尊重をとまえ、内乱で荒廃した南都寺院の復興につとめた。律宗の (3) (思円)と (4) (良観)らは、新しい戒律をかかげ、貧しい人びとや病人の救済に取り組んだ。

このころ中国(宋)に広まっていた禅宗は、厳しい戒律と座禅による鍛錬を通じて悟りをめざすものであった。2度入宋した天台の僧 (5) は禅を日本に伝え、公家や上流武士の帰依をうけ、のちに日本の臨済宗の開祖と仰がれた。鎌倉幕府の支配層は臨済宗を厚く保護し、宋から (6) や (7) を鎌倉に招いて、貴族とは異なる海外の新しい文化の導入につとめた。こうした律宗や臨済禅など戒律を重んじる僧侶たちは禅律僧と呼ばれ、幕府や朝廷の信頼を得て、旧仏教とともに体制仏教の一角を占めた。

一方、戒律や修行、学問を中心とした仏教とは異なり、内面の信仰を重視し武士や庶民など広い階層を対象とする新しい仏教(鎌倉仏教)の運動があった。

浄土宗をひらいた (8) は、延暦寺に受けつがれてきた浄土教を発展させ、阿弥陀仏の救済を信じて、念仏( (9) )をとさえれば、死後は誰でも平等に極楽浄土に往生できるという (10) の教えを説き、浄土宗の開祖となった。その弟子のひとりである (11) は、師の教えを徹底し、罪深い人間こそが、阿弥陀仏の救済の対象であるという (12) をとなえ、その教えは主に東国の武士や農民に広がり、のちに浄土真宗(一向宗)の開祖と仰がれた。同じく浄土宗の流れをくむ (13) は、鎌倉中期に諸国を廻りながら、信心の有無や浄・不浄に関係なく、すべての人が救済されるという念仏の教えを説き、 (14) を通じて各地の武士や農民に教えを広めた。

(15) 国の漁民の子に生まれ、はじめ天台宗を学んだ (16) は、法華経のみが正しい仏法であると主張し、題目( (17) )をとさえすることで救済されると説き、関東の武士や商工業者に広まった。しかし、他宗派を批判し、国難を予言したりしたため、しばしば迫害を受けた。

また、幕府との結びつきを強めた禅宗の中でも、ただひたすら坐禅に徹せよと説き、山中にこもって曹洞宗をひらいたのが (18) である。臨済宗が師からあたえられた (19) と呼ばれる問題を坐禅のなかで解くことで悟りの境地を目指したのに対し、曹洞宗はひたすら坐禅すること( (20) )を重視した。

こうした鎌倉新仏教の特色は、一つの道(念仏・題目・禅)によってのみ救済されると説き、広く武士や庶民にもその門戸をひらいて、旧仏教と結びついた社会を批判した点にある。その多くは権力の迫害を受けつつ、のちにそれぞれ新しい宗派として定着し、今日にいたるまで大きな勢力をもつようになった。

問 1 空欄 (1) ~ (20) にもっとも適切なものを、以下のア～フから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |          |        |            |        |
|----------|--------|------------|--------|
| ア 隠元     | イ 一遍   | ウ 栄西       | エ 叡尊   |
| オ 貞慶     | カ 親鸞   | キ 道元       | ク 日蓮   |
| ケ 忍性     | コ 法然   | サ 明恵       | シ 良忍   |
| ス 甲斐     | セ 相模   | ソ 安房       | タ 夢窓疎石 |
| チ 蘭溪道隆   | ツ 無学祖元 | テ 公案       | ト 一切皆成 |
| ナ 只管打坐   | ニ 悪人正機 | ヌ 踊念仏      | ネ 専修念仏 |
| ノ 南無阿弥陀仏 |        | ハ 南無大師遍照金剛 |        |
| ヒ 南無釈迦牟尼 |        | フ 南無妙法蓮華経  |        |

問 2 下線部(a)に関連して、日本に伝わる北方仏教の伝播経路に当たると想定される地域を、以下のア～オから 3つ 選んでその記号を解答欄にマークせよ。

- |         |         |      |
|---------|---------|------|
| ア ミャンマー | イ スリランカ | ウ 中国 |
| エ 朝鮮半島  | オ 西域    |      |

問 3 下線部(b)に関連して、日本への仏教公伝年代については 538 年説と 552 年説があるが、この 2 つの公伝を記した史料として、適切でないものを、以下のア～オから 2つ 選んでその記号を解答欄にマークせよ。

- |                |              |
|----------------|--------------|
| ア 『好太王碑の碑文』    | イ 『元興寺縁起』    |
| ウ 『日本書紀』       | エ 『上宮聖徳法王帝説』 |
| オ 『稻荷山古墳出土鉄剣銘』 |              |



問 8 下線部(g)に関連する記述として正しいものを、以下のア～オから2つ選んでその記号を解答欄にマークせよ。

ア 行基のように、民衆への布教とともに用水施設や救済施設をつくる社会事業をおこない、国家から取締りを受けた僧もいた。

イ 孝謙天皇は悲田院・施薬院を設立して貧窮民の救済にあたった。

ウ 正式な僧侶となるには、東大寺や国分寺で学び、さらに授戒を受けることが必要とされた。

エ 正式の僧侶となるための戒律を受ける戒壇は、東大寺戒壇院と唐招提寺に限定して設置された。

オ 仏教の政治化をきらい、大寺院を離れて山林にこもって修行する僧たちが出て、やがて平安新仏教の母体となった。

問 9 下線部(h)に関連する以下のア～エの記述で誤っているものがあれば、その記号をすべて解答欄にマークし、すべて正しい場合は、オをマークせよ。

ア 最澄は、平安京の西北にある比叡山に延暦寺を建て、悟りを開き成仏できる性質(仏性)はすべての人間が平等にもっていると説いた。

イ 最澄の大乗戒壇創設要求は、南都の諸宗から激しい反対を受け、最澄は『頭戒論』を著して反論したが、大乗戒壇の設立が公認されたのは最澄の死後であった。

ウ 延暦寺はこれ以後、仏教の学問・修行の中心となり、浄土教や鎌倉新仏教の母胎としても重要な役割を果たした。

エ 最澄の弟子の円仁・円珍はあいついで入唐し、帰国後、天台宗に密教の要素を大幅に取り入れた。

オ (ア～エはすべて正しい)

問10 下線部(i)に関連する記述として正しいものを、以下のア～オから2つ選んでその記号を解答欄にマークせよ。

ア 空海は『性霊集』を著し、儒教・仏教・道教のなかで仏教がすぐれていることを論じて、仏教の道にすすんだ。

イ 空海は、長安で密教を学び、帰国後、高野山に教王護国寺を建てて真言宗をひらいた。

ウ 空海が嵯峨天皇からたまわった金剛峰寺は、平安京における密教の根本道場となった。

エ 釈迦の教えを經典から学び修行して悟りをひらこうとする顕教に対して、空海は秘密の呪法の伝授・習得により悟りは開けるとした。

オ 密教は、加持祈禱によって現世利益をもたらすものとして、天皇や貴族の支持をえた。

問11 下線部(j)に関連する人物とそれに関連する作品や用語の組み合わせとして正しいものを、以下のア～オから2つ選んでその記号を解答欄にマークせよ。

ア 空也 —— 市聖

イ 定朝 — 平等院鳳凰堂阿弥陀如来像

ウ 藤原頼通 — 法成寺

エ 源信 — 『日本往生極楽記』

オ 慶滋保胤 — 『往生要集』

〔Ⅱ〕 次の文章を読んで、下記の問いに答えよ。

元禄文化は、17世紀後半から18世紀初めに、文芸、美術、工芸などの幅広い領域で展開した。そこには、封建的な社会秩序のもとにあっても、人間の欲求を追求し、現世をありのままに表現しようとする特徴がみられる。

江戸初期には、 (1) とよばれる、絵入りの平易で通俗的な教訓書が出版されていた。井原西鶴は、これを発展させて  (2) とよばれる小説を書いた。その内容は、男女の愛欲生活を描いたもの、町人の経済活動の喜怒哀楽を描いたもの、武家の生活や武家社会の矛盾を描いたものなど、多様であった。

近松門左衛門は、浄瑠璃にあわせて人形を操る人形浄瑠璃のための脚本を書いた。その作品は、町人社会の出来事や当時の世相を題材にしたものや、歴史上の出来事を題材にしたものに大別され、義理と人情との葛藤を描いて好評を博した。

(3) は、遊女や役者を主な題材として、当世風の世の中を描く浮世絵を確立した。その代表的な作品の一つである『見返り美人図』は、町人の女性の振り返った姿を生き生きととらえ、流行の髪型や服装を描いた肉筆画である。

(3) は、こうした肉筆画のすぐれた作品を残しただけでなく、 (2) のさし絵に用いられていた木版画の技術を使った  (4) の創始者でもあった。

有田の陶工であった  (5) は、うわぐすりをかけて焼いた上に彩色の模様を描く上絵付の技法を、江戸初期に完成させていた。 (6) はこれを発展させて京焼色絵陶器として大成させ、『色絵月梅文茶壺』のような蒔絵風の図柄を描いた色絵の作品を残した。絵画の分野で、独特の構図と彩色によって『燕子花図屏風』のような装飾画を大成させた  (7) の弟の乾山も、装飾的な色絵の作品を残した。

このような数多くのすぐれた作品を生み出した元禄文化の中心地は上方で、そのおもな担い手は、豪商、町人であった。上方の大都市の一つである大坂には、諸藩の年貢米や領内の産物を運び込み、これらの物資を管理、販売する蔵屋敷が



建ち並んだ。蔵屋敷に集積する物資は蔵物とよばれ、これの出納、売却を扱った商人が (8) で、売却代金の保管や送金にあたった商人が (9) であった。

物資の流通は海上交通によって担われた。17世紀中頃に南海路に就航した菱垣廻船、樽廻船とよばれる定期船によって江戸と大坂との輸送は行われた。江戸の商人河村瑞賢は、日本海側の物資を上方に運ぶ (10) , 江戸に運ぶ (11) を整備した。

江戸幕府は、金座、銀座、銭座を設置し、そこでは金貨、銀貨、銭貨(これら<sup>(f)</sup>を三貨とよぶ)が鑄造され、貨幣制度が整備された。これによって商品の流通が発展したと同時に、三貨のあいだに両替相場が形成され、三貨の交換、預金、貸付、為替、手形発行などを扱う (12) があらわれた。

このようにして、幕藩体制のもとで物資の流通、交通、商業、貨幣制度と金融が発達することで、(8) , (9) , (12) は巨大な富を蓄えるようになった。なかには、蔵米を抵当に大名に貸し付けをする者もあらわれたが、その多くは大坂の豪商であった。

問 1 空欄 (1) ~ (12) にもっとも適した語句を、以下のア~ネから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |         |         |           |
|---------|---------|-----------|
| ア 浮世絵版画 | イ 浮世草子  | ウ 内海船     |
| エ 尾形光琳  | オ 掛屋    | カ 葛飾北斎    |
| キ 仮名草子  | ク 株仲間   | ケ 北前船     |
| コ 黄表紙   | サ 蔵元    | シ 酒井田柿右衛門 |
| ス 洒落本   | セ 鈴木春信  | ソ 多色刷     |
| タ 俵屋宗達  | チ 問屋    | ツ 西廻り航路   |
| テ 野々村仁清 | ト 菱川師宣  | ナ 東廻り航路   |
| ニ 風景版画  | ヌ 本阿弥光悦 | ネ 両替商     |

問 2 井原西鶴と近松門左衛門の作品で、下線部(a)~(e)のそれぞれに該当するものを、以下のア~コから一つずつ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |             |              |
|-------------|--------------|
| ア 『浮世風呂』    | イ 『仮名手本忠臣蔵』  |
| ウ 『好色一代男』   | エ 『国性(姓)爺合戦』 |
| オ 『曾根崎心中』   | カ 『東海道中膝栗毛』  |
| キ 『東海道名所記』  | ク 『日本永代蔵』    |
| ケ 『南総里見八犬伝』 | コ 『武道伝来記』    |

問 3 下線部(f)に関して、次の文章の空欄 (1) ~ (4) にもっとも適したものを、以下のア~ケから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

幕府は江戸初期には、統一貨幣として (1) を発行した。しかし、5代將軍徳川綱吉時代に財政が悪化したため、貨幣を改鑄して品質を落とした (2) を発行し、その差益で財政収入を補おうとした。このため、貨幣価値が下落して物価が上昇した。(3) が將軍侍講であった7代將軍徳川家継の時代に改鑄が行われて (4) が発行され、貨幣の品質をもとに戻すことで物価の安定がはかられた。

- |        |        |        |
|--------|--------|--------|
| ア 新井白石 | イ 寛永通宝 | ウ 慶長金銀 |
| エ 元禄金銀 | オ 正徳金銀 | カ 天保通宝 |
| キ 宝永金銀 | ク 松平定信 | ケ 水野忠邦 |

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えよ。

近代における女性解放運動の歴史において、1911(明治44)年に平塚らいてうらによって結成された女流文学者団体の (1) の結成が大きな画期となった。その背景には、母親は家庭を守り、子どもは教育を受け、そしてできれば都市近郊の文化住宅に住むという、文化的家庭生活の実現に代表される生活向上意欲と同時に、女性たちに、働く場を家庭内に限定し、良妻賢母として生きることを強いるという、新たな抑圧もあった。なに不自由のない家庭の妻ノラの家出を扱ったイブセンの『人形の家』が (2) によって1911(明治44)年に上演され脚光を浴びたのも、この時期である。<sup>(a)</sup>

その後、平塚らは家庭のかかえる矛盾に注目するようになった。1918(大正7)年には、平塚と (3) が、女性の自立における経済的自立と国家による母性保護の必要性をめぐる母性保護論争を『婦人公論』でたたかわせた。さらに政治運動も展開され、1920年には平塚・ (4) ・ (5) らを中心に、婦人参政権の獲得や、女性が政治集会へ参加することを禁じた (6) の改正を求めて (7) が結成された。これが1924年の (8) の結成につながった。また社会主義の立場からは、山川菊栄らによって (9) が結成された。

こうして新たな女性解放運動が生まれたが、それらは 当時の他の社会運動とは、なかなか結びつかず、普通選挙は実現されても婦人参政権は容易に実現されなかった。<sup>(b)</sup>  
<sup>(c)</sup>

問 1 空欄 (1) ~ (9) にもっとも適切な用語を、以下のア～ニから  
選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |                |              |         |
|----------------|--------------|---------|
| ア 矯風会          | イ 野上弥生子      | ウ 新婦人協会 |
| エ 治安維持法第 5 条   | オ 市川房枝       | カ 草土社   |
| キ 赤瀾会          | ク 高群逸枝       | ケ 青鞞社   |
| コ 奥むめお         | サ 婦人議員クラブ    | シ 林芙美子  |
| ス 普通選挙法第 5 条   | セ 中山マサ       | ソ 松井須磨子 |
| タ 婦人参政権獲得期成同盟会 |              | チ 三浦環   |
| ツ 与謝野晶子        | テ 矢島楫子       | ト 山田美妙  |
| ナ 黎明会          | ニ 治安警察法第 5 条 |         |

問 2 下線部(a)の時期及びそれ以後の文学と芸術に関する組み合わせで、正しい  
ものにはアを、誤っているものにはイを解答欄にマークせよ。

- (1) 武者小路実篤 — 『暗夜行路』 — 白樺派
- (2) 永井荷風 —— 『腕くらべ』 — 新感覚派
- (3) 鈴木三重吉 —— 『赤い鳥』 —— 児童文学
- (4) 土方与志 —— 築地小劇場 — 新劇運動

問 3 下線部(b)について、この時代の社会運動に関する説明として、正しいもの  
にはアを、誤っているものにはイを解答欄にマークせよ。

- (1) 1912 年に設立した友愛会は階級闘争主義的な日本労働総同盟に発展した。
- (2) 西光万吉や阪本清一郎らによって、被差別部落民の解放を要求する全国水平社が 1922 年に結成された。
- (3) 農村では小作料の減免を求めて小作争議が頻発し、杉山元治郎、賀川豊彦らによって日本農民組合が結成された。
- (4) 1922 年には、堺利彦、鈴木文治らによって日本共産党が設立された。

問 4 下線部(C)に関連して、その後、女性にも選挙権があたえられた 1945 年の衆議院議員選挙法改正に関する説明について、正しいものにはアを、誤っているものにはイを解答欄にマークせよ。

- (1) この改正により、男性の選挙権も満 30 歳以上から満 20 歳以上に引き下げられた。
- (2) 戦後初の衆議院議員選挙によって第一次吉田内閣が組織された。
- (3) 衆議院議員選挙法改正が公布された時の内閣は、幣原内閣である。
- (4) 1946 年に行われた総選挙では、女性にも選挙権があたえられたものの女性議員は誕生しなかった。